科目名	キャリア教育(1)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	松尾有里子
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部1)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	サポートアンケート/ITリテラシー/ シラバス配布	レポート
2	4月27日	講義・演習	週報記載/面談スケジュール／ 青本で学校を理解する/	レポート
3	5月11日	講義・演習	週報記載/現場参加の心構えをする/便覧	レポート
4	5月18日	講義・演習	週報記載/メールの書き方 送り方　与える印象を理解する	ワークシート提出
5	5月25日	講義・演習	週報記載/電話の取り方／かけ方　与える印象を理解する	ワークシート提出
6	6月1日	講義・演習	週報記載/プロ意識とは何か。 自己評価点検を行う/生活習慣の見直し	ワークシート提出
7	6月8日	講義・演習	週報記載 グループワークにてコミュニケーションを学ぶ	ワークシート提出
8	6月15日	講義・演習	週報記載 音楽業界への基礎知識を理解する	ワークシート提出
9	6月22日	講義・演習	週報記載 就職活動における企業を調べるツールを理解する	ワークシート提出
10	6月29日	講義・演習	週報記載 就職活動の方法を理解する	ワークシート提出
11	7月6日	講義・演習	週報記載 ミッションステートメントを書く	ワークシート提出
12	7月13日	講義・演習	週報記載 履歴書の書き方講座　事例検討をする	ワークシート提出
13	8月24日	講義・演習	週報記載/履歴書の書き方を理解する	ワークシート提出
14	8月31日	講義・演習	イベント実践（明日への扉）を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	9月7日	講義・演習	イベント実践（明日への扉）を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習　時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	

【使用教科書・教材・参考書】 □

科目名	キャリア教育(2)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	松尾有里子
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部1)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/目標設定	レポート
2	10月12日	講義・演習	週報記載/エゴグラムでわかる自己評価を理解する	レポート
3	10月19日	講義・演習	週報記載/就職活動　スーツの着こなしを学ぶ	レポート
4	10月26日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート提出
5	11月2日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート提出
6	11月16日	講義・演習	週報記載/就職活動　プラットフォームへの理解する	ワークシート提出
7	11月23日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解	ワークシート提出
8	11月30日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解/ 社会人の基礎	ワークシート提出
9	12月7日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎	ワークシート提出
10	12月14日	講義・演習	週報記載/プレゼン力を磨く	ワークシート提出
11	12月21日	講義・演習	週報記載/社会人に向けての将来設計	ワークシート提出
12	1月11日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/ 2年生の目標設定	ワークシート提出
13	1月18日	講義・演習	1年間の振り返り、2年へ向けて	ワークシート提出
14	2月1日	講義・演習	イベント実践（we are TSM!）を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	2月8日	講義・演習	イベント実践(we are TSM!)を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習　時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	

【使用教科書・教材・参考書】 □

科目名	キャリア教育(3)	必修選択	必修	年次	2	担当教員	松尾有里子
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部1)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	サポートアンケート/ITリテラシー/ シラバス配布	レポート
2	4月28日	講義・演習	週報記載/1年間の目標設定	レポート
3	5月12日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	レポート
4	5月19日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
5	5月26日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
6	6月2日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
7	6月9日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
8	6月16日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
9	6月23日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
10	6月30日	講義・演習	週報記載 自分自身の理解	ワークシート提出
11	7月7日	講義・演習	週報記載 就職活動確認/リクエスト授業	ワークシート提出
12	7月14日	講義・演習	週報記載/ リクエスト授業	ワークシート提出
13	8月25日	講義・演習	週報記載/音楽業界について調べる	ワークシート提出
14	9月1日	講義・演習	イベント実践（明日への扉）を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	9月8日	講義・演習	イベント実践（明日への扉）を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習　時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	

【使用教科書・教材・参考書】 □

科目名	キャリア教育(4)	必修選択	必修	年次	2	担当教員	松尾有里子
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部1)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/目標設定	レポート
2	10月13日	講義・演習	週報記載/エゴグラムでわかる自己評価を理解する	レポート
3	10月20日	講義・演習	週報記載/就職活動　スーツの着こなしを学ぶ	レポート
4	10月27日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート提出
5	11月3日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート提出
6	11月17日	講義・演習	週報記載/就職活動　プラットフォームへの理解する	ワークシート提出
7	11月24日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解	ワークシート提出
8	12月1日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解/ 社会人の基礎	ワークシート提出
9	12月8日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎	ワークシート提出
10	12月15日	講義・演習	週報記載/プレゼンカを磨く	ワークシート提出
11	1月12日	講義・演習	週報記載/社会人に向けての将来設計	ワークシート提出
12	1月19日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認	ワークシート提出
13	2月2日	講義・演習	就職に向けて	ワークシート提出
14	2月9日	講義・演習	イベント実践（we are TSM!）を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践(we are TSM!)を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習　時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	

【使用教科書・教材・参考書】 □

科目名	美術デザイン(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	松尾有里子 堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部1)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	①劇場やその他イベント会場等で、プロのスタッフと行動できるための最低限の基礎知識を身につける。 ②デザインから製作までの流れの基礎を理解する。						
到達目標	舞台劇場や製作会社等でのデザイン基礎、製作時に使用する道具の名称、使用方法を学ぶ。。 2年生は1年生時に学んだことの応用・発展を学ぶ。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	舞台美術基礎①(舞台用語・尺貫法)を学ぶ	部屋の図面作成
2	5月10日	講義・演習	舞台美術基礎②(透視図法・パース・スケッチ)を学ぶ	スケッチ課題
3	5月17日	講義・演習	舞台美術基礎③(部屋の図面作成)を学ぶ	課題・ワークシート
4	5月24日	講義・演習	課外学習①　野外のスケッチ	課題・ワークシート
5	5月31日	講義・演習	課外学習①　材料の買出し・値段を知る	課題・ワークシート
6	6月7日	講義・演習	舞台美術基礎④(模型基礎)を学ぶ	課題・ワークシート
7	6月14日	講義・演習	音楽の課題デザインの実践	課題・ワークシート
8	6月21日	講義・演習	舞台美術基礎⑤工具の使い方実習	課題・ワークシート
9	6月28日	講義・演習	課外学習②	課題・ワークシート
10	7月5日	講義・演習	応用実習①	課題・ワークシート
11	7月12日	講義・演習	応用実習②	課題・ワークシート
12	7月19日	講義・演習	応用実習③	課題・ワークシート
13	8月23日	講義・演習	応用実習④	課題・ワークシート
14	8月30日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台美術を学ぶ	レポート
15	9月6日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台美術を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 □

劇場空間の源流』本杉省三著、『劇場工学と舞台機構』小川俊朗著、『劇場の構図』清水裕之

科目名	美術デザイン(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	松尾有里子 堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部1)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	①劇場やイベント会場で、プロのスタッフと行動できるための最低限の基礎知識を身につける。 ②デザインから製作までの流れの基礎からの応用、発展を理解する。 ③前期に学んだ事を踏まえた、実習授業(工具を使い道具等製作、学校行事やアクター公演協力、など)						
到達目標	舞台劇場や製作会社でのデザイン授業、製作に使用する道具の名称、使用方法を学ぶ。 2年生は1年生時に学んだことの応用・発展を学ぶ						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	トリマーを使用した窓枠、装飾のデザインを行う	ワークシート
2	10月11日	講義・演習	トリマー・モールディングを使った製作実習	ワークシート
3	10月18日	講義・演習	扉のデザインの実践	ワークシート
4	10月25日	講義・演習	扉の製作実習	ワークシート
5	11月1日	講義・演習	和物建具の基礎とデザインの実践	ワークシート
6	11月8日	講義・演習	和物建具の製作実習	ワークシート
7	11月15日	講義・演習	ワゴン、引き枠、盆の構造・デザインについて学ぶ	ワークシート
8	11月22日	講義・演習	ワゴン、引き枠、盆の構造製作と実習	ワークシート
9	11月29日	講義・演習	テーマ製作デザインを行う	ワークシート
10	12月6日	講義・演習	テーマ製作実習①	ワークシート
11	12月13日	講義・演習	テーマ製作デザイン②	ワークシート
12	12月20日	講義・演習	テーマ製作実習②	ワークシート
13	1月10日	講義・演習	テスト	ワークシート
14	1月17日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台美術を学ぶ	レポート
15	1月31日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台美術を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 □

科目名	MusicTheory（1）	必修選択	選択	年次	1	担当教員	中澤頼子 渡辺由芽 小林由佳 正村恵 鈴木未夏
		授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部1)						
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界でステップアップしていく為には、業界で共通の認識とされている楽譜の基礎知識が必要となる。本講義では、音楽理論といわれるそれらの内容について基礎から学び、卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようにする。						
到達目標	音楽業界で飛びかう用語や楽譜の基礎知識を理解できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	楽譜の歴史、五線譜、クレフ	五線譜の各部名称とクレフ、音名を復習する
2	5月10日	講義・演習	音名	五線に書かれた音符の音名と鍵盤の位置が一致出来るように復習する
3	5月17日	講義・演習	音符、休符	音符、休符の表し方と連符を復習する
4	5月24日	講義・演習	拍子、複合拍子	小節線、単純拍子、複合・混合拍子、タイについて復習する
5	5月31日	講義・演習	反復記号	反復記号を学び、音源を聴き楽譜を追えるようにする
6	6月7日	講義・演習	スコアリーディング	1w～5wまでの復習をし理解度を高める
7	6月14日	講義・演習	中間テスト	1w～5wまでの復習をし理解度を高める
8	6月21日	講義・演習	メイジャースケール	メイジャースケールの仕組みを復習する （♯系メイジャースケール）
9	6月28日	講義・演習	メイジャースケール	5度圏を用い、調号を用いてスケールを書けるようにする（♭系メイジャースケール）
10	7月5日	講義・演習	記譜法、臨時記号	調号と臨時記号の区別、臨時記号の効力を学び正しい楽譜が書けるようにする
11	7月12日	講義・演習	テンポ、強弱記号	速度記号、速度標語、強弱記号を復習する
12	7月19日	講義・演習	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
13	8月23日	講義・演習	まとめ、期末予備テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
14	8月30日	講義・演習	期末テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
15	9月6日	講義・演習	テスト返却、復習	楽譜を見てKeyや雰囲気をつかむことができるようにする
準備学習　時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	

【使用教科書・教材・参考書】 □

ゼロから始める音楽理論」、「ゼロから始める音楽理論　ワークブック」 喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行)　株式会社滋慶教育事業部

科目名	Ear Training（1）	必修選択	選択	年次	1	担当教員	中澤頼子 渡辺由芽 小林由佳 正村恵 鈴木未夏
		授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部1)						
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界でステップアップしていく為には、リズム感と音感が必要となる。本講義では聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き取り、実際に歌うなどしてソルフェージュの基礎を養う。卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようにする。						
到達目標	聴こえる音やリズムを正しく判別できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	音の歴史、モールス信号、周波数、効果音について知る　リズム打ち・書き取り方について知る　音の高低の判定	配布された授業プリントのリズム書き取りを正確に叩けるようにする
2	4月28日	講義・演習	4分音符、4分休符のリズム打ち　3拍子と4拍子のビート感覚を養う　2線紙を使って音の高低判定　2度音程を歌い音程感を身に付ける	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
3	5月12日	講義・演習	8分音符のリズム打ちと5線紙を使ってリズムの書き取り　3線紙を使って音の高低判定	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
4	5月19日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符のリズム打ち、リズムの書き取り、5線紙を使ってメロディーの書き取り　音程（全音と半音の区別）	配布された授業プリントのリズム打ちやメロディー書き取り、音程を復習する
5	5月26日	講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱　音程（1.2.3.8度、♯♭なし）	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
6	6月2日	講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱ができる　音程（1.2.3.8度、♯♭あり）	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
7	6月9日	講義・演習	中間テスト	今までの内容を復習し次回の授業に備える
8	6月16日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱　音程（4,5度♯♭なし）	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
9	6月23日	講義・演習	8分休符（裏打ち）のリズム打ち、書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱 音程（1～5度8度、♯♭あり）トライトーン	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
10	6月30日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱　音程（1～5度、8、6度）	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
11	7月7日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱　音程（1～8度）	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
12	7月14日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱、Major,minorのコード判定、音程（1～8度）	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
13	8月25日	講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
14	9月1日	講義・演習	期末テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
15	9月8日	講義・演習	テスト返却、総復習	復習
準備学習　時間外学習			前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える	

【使用教科書・教材・参考書】 □

ゼロから始める音楽理論」、「ゼロから始める音楽理論　ワークブック」 喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行)　株式会社滋慶教育事業部

科目名	IT講座(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	新名佐和子
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部1)	授業形態	講義・演習	総時間(単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2008年よりフリーのイラストレーター、グラフィックデザイナーとして活動している						
授業の学習内容	社会においてIT知識、広告・宣伝は欠かせないものであり、消費者として普段からよく目にするものでもある。 この科目の受講者自身には生活・ビジネスにおけるITの基礎知識を習得してもらいたい。 講義では、ビジネスマナーとしてのIT知識を学び、演習を中心に、制作現場で使用頻度の高いアプリケーションを用いて習得していく。						
到達目標	Macを自由に扱えるようになる。 メール作成などにおけるビジネスマナーの基礎知識を身につける。 Wordの基本操作ができるようになる。(文書作成) Excelの基本操作ができるようになる。(表作成、表計算) Keynote(Powerpoint)が扱えるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	PCに関する理解①、ブラウザアプリ、メール設定、メール作成練習	授業で学んだツールの復習をする
2	5月10日	講義・演習	PCに関する理解②、クラウド利用、データの保存、管理	授業で学んだツールの復習をする
3	5月17日	講義・演習	【Word】基礎技術習得①　画面表示やツールを理解する　お知らせ文書作成	授業で学んだツールの復習をする
4	5月24日	講義・演習	【Word】基礎技術習得②　自由なレイアウトで自己紹介作成	授業で学んだツールの復習をする
5	5月31日	講義・演習	【Word】基礎技術習得③ 表、段落、インデント、ヘッダーフッター、印刷	授業で学んだツールの復習し、終わらなかった分を完成させる
6	6月7日	講義・演習	【Excel】基礎技術習得① 画面表示やツールを理解する　表作成練習	授業で学んだツールの復習をする
7	6月14日	講義・演習	【Excel】基礎技術習得② 年間スケジュールを作成する	授業で学んだツールの復習し、終わらなかった分を完成させる
8	6月21日	講義・演習	【Excel】基礎技術習得③ 表計算を理解する　請求書を作成する	授業で学んだツールの復習し、終わらなかった分を完成させる
9	6月28日	講義・演習	【Excel】基礎技術習得④ リストの作成、グラフ作成を理解する	授業で学んだツールの復習し、終わらなかった分を完成させる
10	7月5日	講義・演習	【Keynote(Powerpoint)】基礎技術習得① 操作と仕組みを理解する	次週続きから始められるように、考えを整え素材などを準備する
11	7月12日	講義・演習	【Keynote(Powerpoint)】基礎技術習得② プレゼン資料を作成する	次週続きから始められるように、考えを整え素材などを準備する
12	7月19日	講義・演習	【Keynote(Powerpoint)】基礎技術習得② プレゼン資料を作成する　完成	授業で学んだツールの復習し、終わらなかった分を完成させる
13	8月23日	講義・演習	到達度テスト、解説	理解と技術の及ばなかった部分を復習する
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通してPCスキルの必要性、重要性を学ぶ	レポート
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通してPCスキルの必要性、重要性を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習			日頃からすべてのデータをきちんとファイリングし、丁寧に扱う練習をする	

【使用教科書・教材・参考書】 □

Mac,Microsoft office,アプリケーション

科目名	IT講座(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	新名佐和子
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部1)	授業形態	講義・演習	総時間(単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2008年よりフリーのイラストレーター、グラフィックデザイナーとして活動している						
授業の学習内容	社会においてIT知識、広告・宣伝は欠かせないものであり、消費者として普段からよく目にするものでもある。 この科目の受講者自身にはビジネスにおけるIT知識、広告宣伝に使えるデザインの基礎知識を習得してもらいたい。 講義では、ビジネスマナーとしてのIT知識を学び、基礎的な広告宣伝が行えるようなデザイン技術を、演習を中心に、制作現場で使用頻度の高いアプリケーションを用いて習得していく。						
到達目標	Macを自由に扱えるようになる。 Word(文書作成)、Excel(表作成、表計算)、Keynote(Powerpoint)を複合的に扱えるようになる。 初歩的な写真加工、レイアウト、Webサイト作成アプリを扱えるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	Word、Excel、Keynoteの基本操作復習。ファイル圧縮、QRコード作成方法	授業で学んだツールの復習をする
2	10月11日	講義・演習	PCでの画像補正を習得する。カラーモード、解像度、保存形式を理解する。	授業で学んだツールの復習をする
3	10月18日	講義・演習	対外的なデータ作成のルール、保存方法、送付方法などを身につける。	授業で学んだツールの復習をする。自分の過去のデータの整理をする
4	10月25日	講義・演習	Adobe illustratorの操作方法を身につける① フリーフォント、版権を理解する	商用利用可能なフリーフォントでから好きなものを探し、収集する
5	11月1日	講義・演習	Adobe illustratorの操作方法を身につける② 商用利用可能素材を理解する	商用利用可能な画像から好きなものを探し、収集する
6	11月8日	講義・演習	Adobe illustratorの操作方法を身につける③ フライヤー作成・完成	商用利用可能なベクターデータから好きなものを探し、収集する
7	11月15日	講義・演習	名刺を作成する。市販のプリント用紙に印刷する方法を身につける	授業で終わらなかった分を完成させる
8	11月22日	講義・演習	「STUDIO」でのWebサイト作成を身につける① 学んだ技術を複合的に扱う	制作に必要な資料、データの収集
9	11月29日	講義・演習	「STUDIO」でのWebサイト作成を身につける② 学んだ技術を複合的に扱う	制作に必要な資料、データの収集
10	12月6日	講義・演習	「STUDIO」でのWebサイト作成を身につける③ 学んだ技術を複合的に扱う	授業で終わらなかった分を完成させる
11	12月13日	講義・演習	身につけた技術を用い、自己プレゼン資料を作成する①(Keynote)	制作に必要な資料、データの収集
12	12月20日	講義・演習	身につけた技術を用い、自己プレゼン資料を作成する②(Keynote)	授業で終わらなかった分を完成させる
13	1月10日	講義・演習	到達度テスト、解説	理解と技術の及ばなかった部分を復習する
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通してPCスキルの必要性、重要性を学ぶ	レポート
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通してPCスキルの必要性、重要性を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習			日頃からすべてのデータをきちんとファイリングし、丁寧に扱う練習をする	

【使用教科書・教材・参考書】 □

Mac,Microsoft office,Adobeアプリケーション

科目名	Designers Vectorworks(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	松尾有里子
		授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部1)						
教員の略歴							
授業の学習内容	制作・美術・技術の共通言語であるCADソフト『Vectorworks』を使用し、2Dの基礎を学びます。 正確さだけでなく、曲線も自在に描ける様になり、最終課題では「自分が創作した小道具・衣装・機材」の平面図・立面図を制作し、プレゼンする。						
到達目標	パソコンを使った作図に慣れ、イメージをCADを使って正確に、しかも自由に表現出来る様にする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	ガイダンス～環境設定を行う	レポート
2	5月10日	講義・演習	2D基礎操作の実践①	前週の復習
3	5月17日	講義・演習	2D基礎操作の実践②	前週の復習
4	5月24日	講義・演習	2D基礎操作の実践③	前週の復習
5	5月31日	講義・演習	2D基礎操作の実践④	前週の復習
6	6月7日	講義・演習	2D基礎操作の実践⑤	前週の復習
7	6月14日	講義・演習	2Dを使用した応用の実践①	前週の復習
8	6月21日	講義・演習	2Dを使用した応用の実践②	前週の復習
9	6月28日	講義・演習	2Dを使用した応用の実践③	前週の復習
10	7月5日	講義・演習	課題「小道具、機材」を2Dで制作する①	前週の復習
11	7月12日	講義・演習	課題「小道具、機材」を2Dで制作する②	前週の復習
12	7月19日	講義・演習	課題「小道具、機材」を2Dで制作する③	前週の復習
13	8月23日	講義・演習	課題のプレゼンを行う	課題提出
14	8月30日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台図面を学ぶ	レポート
15	9月6日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台図面を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習			授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名	Designers Vectorworks(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	松尾有里子
		授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部1)						
教員の略歴	株式会社アルティア勤務。Vectorworksを使用し、TV番組等の美術を制作						
授業の学習内容	制作・美術・技術の共通言語であるCADソフト『Vectorworks』を使用し、2Dの基礎を学びます。 正確さだけでなく、曲線も自在に描ける様になり、最終課題では「自分が創作した小道具・衣装・機材」の平面図・立面図を制作し、プレゼンする。						
到達目標	パソコンを使った作図に慣れ、イメージをCADを使って正確に、しかも自由に表現出来る様にする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	ガイダンス～環境設定を行う	前期の復習
2	10月11日	講義・演習	2D基礎操作・前期の復習を行う	前週の復習
3	10月18日	講義・演習	2D応用の実践④	前週の復習
4	10月25日	講義・演習	2D応用の実践⑤	前週の復習
5	11月1日	講義・演習	2D応用の実践⑥	前週の復習
6	11月8日	講義・演習	課題「ステージ」を2Dで制作する①	前週の復習
7	11月15日	講義・演習	課題「ステージ」を2Dで制作する②	前週の復習
8	11月22日	講義・演習	課題「ステージ」を2Dで制作する③	前週の復習
9	11月29日	講義・演習	課題「ステージ」を2Dで制作する④	前週の復習
10	12月6日	講義・演習	課題「ステージ」を2Dで制作する⑤	前週の復習
11	12月13日	講義・演習	課題プレゼンを行う	課題提出
12	12月20日	講義・演習	3Dの基礎の実践	前週の復習
13	1月10日	講義・演習	3D応用の実践(総評)	前週の復習
14	1月17日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台図面を学ぶ	レポート
15	1月31日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台図面を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 □

科目名	著作権(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	林　達也
		授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部1)						
教員の略歴							
授業の学習内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス／カラオケビジネス／レンタルCDなどの基礎も学ぶ。						
到達目標	音楽業界の基礎／著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル／考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント／ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	オリエンテーション／音楽業界の構造（1）／日本のレコード産業・全体像	教科書準備チェック／配布授業資料復習
2	4月28日	講義・演習	音楽業界の構造（2）／日本レコード協会・JASRAC	教科書予習／配布授業資料復習
3	5月12日	講義・演習	著作権の基礎（1）概要／構造	教科書予習／配布授業資料復習
4	5月19日	講義・演習	著作権の基礎（2）歴史／現在	教科書予習／配布授業資料復習
5	5月26日	講義・演習	アーティストの権利／印税とは	教科書予習／配布授業資料復習
6	6月2日	講義・演習	収入シミュレーション（CD販売）	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
7	6月9日	講義・演習	収入シミュレーション（ダウンロード／音楽配信）	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
8	6月16日	講義・演習	日本におけるカラオケの歴史と市場／印税配分	教科書予習／配布授業資料復習
9	6月23日	講義・演習	著作権の保護期間／フェアユース／問題点など	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
10	6月30日	講義・演習	ミュージックビデオ／ プロモーションビデオの歴史と成り立ち	教科書予習／配布授業資料復習
11	7月7日	講義・演習	レンタルCD市場の歴史と著作権	教科書予習／配布授業資料復習
12	7月14日	講義・演習	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの基礎（1）	教科書予習／配布授業資料復習
13	8月25日	講義・演習	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの基礎（2）	教科書予習／配布授業資料復習
14	9月1日	講義・演習	音楽の仕事／音楽にまつわる職業の考察	教科書予習／配布授業資料復習
15	9月8日	講義・演習	まとめ／復習／期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習　時間外学習			教科書などを用いた授業への予習／毎授業で配布される授業資料を復習	

【使用教科書・教材・参考書】 □

よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編／実践編 5th Edition（安藤 和宏）／ 18歳の著作権入門（福井 健策）

科目名	著作権(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	林　達也
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部1)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス／カラオケビジネス／レンタルCDなどの基礎も学ぶ。 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料／印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎／著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル／考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント／ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	オリエンテーション／音楽業界の構造・応用編（1）	教科書準備チェック／配布授業資料復習
2	10月13日	講義・演習	音楽産業の構造・応用編（2）	教科書予習／配布授業資料復習
3	10月20日	講義・演習	著作権の必須知識／使える著作権	教科書予習／配布授業資料復習
4	10月27日	講義・演習	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの応用（1）	教科書予習／配布授業資料復習
5	11月3日	講義・演習	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの応用（2）	教科書予習／配布授業資料復習
6	11月17日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは？実例／具体例／判例など（1）	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
7	11月24日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは？実例／具体例／判例など（2）	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
8	12月1日	講義・演習	インターナショナルな音楽活動／世界の音楽ビジネス事情	教科書予習／配布授業資料復習
9	12月8日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約（1）	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
10	12月15日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約（2）	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
11	1月12日	講義・演習	音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷	教科書予習／配布授業資料復習
12	1月19日	講義・演習	変わりゆく著作権／時代と著作権との関係と問題点	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
13	2月2日	講義・演習	現在の音楽産業／これから10年後のビジネスモデル	教科書予習／配布授業資料復習
14	2月9日	講義・演習	音楽の仕事／音楽にまつわる職業の考察・応用編	教科書予習／配布授業資料復習
15	2月16日	講義・演習	まとめ／復習／期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習　時間外学習			教科書などを用いた授業への予習／毎授業で配布される授業資料を復習	

【使用教科書・教材・参考書】 □

よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編／実践編 5th Edition（安藤 和宏）／ 18歳の著作権入門（福井 健策）

科目名	音楽史(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	中町俊自
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部1)	授業形態	講義・演習	総時間(単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	ロックの歴史を時代を追って研究する。異なるジャンル、時代のロックがいかに現在のポピュラーミュージックに影響を与えているかを考えながら学ぶ。						
到達目標	1)各時代のジャズのスタイルの違いを説明できること。 2)音楽との関係性を知ること。 3)有名な曲の歴史的意義を知る。 4)各自の音楽制作、演奏、企画に役立てる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	ロック史の概観と2000年以降のロックシーン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
2	10月9日	講義・演習	ロックの誕生～若者向けの商業音楽の成立	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
3	10月16日	講義・演習	エルヴィス・プレスリーの登場による社会の変化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
4	10月23日	講義・演習	ザ・ビートルズが起こした革命	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
5	10月30日	講義・演習	ボブ・ディランとフォークソング、フォークロック	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
6	11月6日	講義・演習	ソウル・ミュージックを学ぶ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
7	11月13日	講義・演習	「サージェント・ペパーズ」が切り開いた世界を知る	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
8	11月20日	講義・演習	70年代へ続く道	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
9	11月27日	講義・演習	70年代、ロックの大衆化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
10	12月4日	講義・演習	パンクの登場	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
11	12月11日	講義・演習	MTVによる時代の変化と HIPHOPが生み出した新しいグルーヴ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
12	12月18日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
13	1月15日	講義・演習	90年代、グランジの時代／まとめ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
14	1月29日	講義・演習	総まとめ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
15	2月5日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
準備学習　時間外学習			自分から進んで授業に関する音源を探して聴くこと。	

【使用教科書・教材・参考書】 □

適宜、講師が用意。

科目名	美術デザイン(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	松尾有里子 堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部1)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	①劇場やその他イベント会場等で、プロのスタッフと行動できるための最低限の基礎知識を身につける。 ②デザインから製作までの流れの基礎からの応用・発展を理解する。						
到達目標	舞台劇場や製作会社等でのデザイン基礎、製作時に使用する道具の名称、使用方法を学ぶ2年生は1年生時に学んだことの応用・発展を学ぶ。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	舞台美術基礎①(舞台用語・尺貫法)を学ぶ	部屋の図面作成
2	5月10日	講義・演習	舞台美術基礎②(透視図法・パース・スケッチ)を学ぶ	スケッチ課題
3	5月17日	講義・演習	舞台美術基礎③(部屋の図面作成)を学ぶ	課題・ワークシート
4	5月24日	講義・演習	課外学習①　野外スケッチ	課題・ワークシート
5	5月31日	講義・演習	課外学習②　材料の買出し・値段を知る	課題・ワークシート
6	6月7日	講義・演習	舞台美術基礎④(模型基礎)を学ぶ	課題・ワークシート
7	6月14日	講義・演習	音楽の課題デザインの実践	課題・ワークシート
8	6月21日	講義・演習	舞台美術基礎⑤工具の使い方実習	課題・ワークシート
9	6月28日	講義・演習	課外学習②	課題・ワークシート
10	7月5日	講義・演習	応用実習①	課題・ワークシート
11	7月12日	講義・演習	応用実習②	課題・ワークシート
12	7月19日	講義・演習	応用実習③	課題・ワークシート
13	8月23日	講義・演習	応用実習④	課題・ワークシート
14	8月30日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台美術を学ぶ	レポート
15	9月6日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台美術を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 □

科目名	美術デザイン(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	松尾有里子 堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部1)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	①劇場やイベント会場で、プロのスタッフと行動できるための最低限の基礎知識を身につける。 ②デザインから製作までの流れの基礎からの応用、発展を理解する。 ③前期に学んだ事を踏まえた、実習授業(工具を使い道具等製作、学校行事やアクター公演協力、など)						
到達目標	舞台劇場や製作会社でのデザイン授業、製作に使用する道具の名称、使用方法を学ぶ。 年生は1年生時に学んだことの応用・発展を学ぶ						2
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	トリマーを使用した窓枠、装飾のデザインを行う	ワークシート
2	10月11日	講義・演習	トリマー・モールディングを使った製作実習	ワークシート
3	10月18日	講義・演習	扉のデザインの実践	ワークシート
4	10月25日	講義・演習	扉の製作実習	ワークシート
5	11月1日	講義・演習	和物建具の基礎とデザインの実践	ワークシート
6	11月8日	講義・演習	和物建具の製作実習	ワークシート
7	11月15日	講義・演習	ワゴン、引き枠、盆の構造・デザインについて学ぶ	ワークシート
8	11月22日	講義・演習	ワゴン、引き枠、盆の構造製作と実習	ワークシート
9	11月29日	講義・演習	テーマ製作デザインを行う	ワークシート
10	12月6日	講義・演習	テーマ製作実習①	ワークシート
11	12月13日	講義・演習	テーマ製作デザイン②	ワークシート
12	12月20日	講義・演習	テーマ製作実習②	ワークシート
13	1月10日	講義・演習	テスト	ワークシート
14	1月17日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台美術を学ぶ	レポート
15	1月31日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台美術を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 □

科目名	イベント制作(3) LT Works(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾有里子 堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義・演習	イベントに必要な資料を理解できる	ワークシート
2	4月29日	講義・演習	イベント運営における資料作成ができるようになる	ワークシート
3	5月13日	講義・演習	イベント制作における必要な資料を作成する	ワークシート
4	5月20日	講義・演習	イベント制作を通してプレゼンテーションをできるようになる	ワークシート
5	5月27日	講義・演習	イベント制作時に必要なプランニング表を作成する事ができる	ワークシート
6	6月3日	講義・演習	プランニングをもとに機材オペレーションをできるようになる	ワークシート
7	6月10日	講義・演習	プランニングしたものをチームで発表できる	ワークシート
8	6月17日	講義・演習	イベントタイムテーブルを理解し 実際の時間を割り出す事ができる	ワークシート
9	6月24日	講義・演習	各セクションとコミニュケーションを取るツールを学ぶ	ワークシート
10	7月1日	講義・演習	チームでの打ち合わせを行うことができる。ミーティング実習	ワークシート
11	7月8日	講義・演習	本番当日の進行状況を理解することができる	ワークシート
12	7月15日	講義・演習	イベントにおける振り返りをすることで 問題点を理解することができる	ワークシート
13	8月26日	講義・演習	イベントの振り返り資料を作成することができ 全体に共有する。ミーティング実習	ワークシート
14	9月2日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
15	9月9日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名	イベント制作(3) STAGE Works(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾有里子 堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義・演習	イベントに必要な資料を理解できる	ワークシート
2	4月29日	講義・演習	イベント運営における資料作成ができるようになる	ワークシート
3	5月13日	講義・演習	イベント制作における必要な資料を作成する	ワークシート
4	5月20日	講義・演習	イベント制作を通してプレゼンテーションをできるようになる	ワークシート
5	5月27日	講義・演習	イベント制作時に必要なプランニング表を作成する事ができる	ワークシート
6	6月3日	講義・演習	プランニングをもとに機材オペレーションをできるようになる	ワークシート
7	6月10日	講義・演習	プランニングしたものをチームで発表できる	ワークシート
8	6月17日	講義・演習	イベントタイムテーブルを理解し 実際の時間を割り出す事ができる	ワークシート
9	6月24日	講義・演習	各セクションとコミニュケーションを取るツールを学ぶ	ワークシート
10	7月1日	講義・演習	チームでの打ち合わせを行うことができる。 ミーティング実習	ワークシート
11	7月8日	講義・演習	本番当日の進行状況を理解することができる	ワークシート
12	7月15日	講義・演習	イベントにおける振り返りをすることで 問題点を理解することができる	ワークシート
13	8月26日	講義・演習	イベントの振り返り資料を作成することができ 全体に共有する。ミーティング実習	ワークシート
14	9月2日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
15	9月9日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 □

科目名	イベント制作(4) PA Works(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾有里子 堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	イベント実施のための平面図を理解する	ワークシート
2	10月14日	講義・演習	イベント実施のための会場図面を理解する	ワークシート
3	10月21日	講義・演習	図面を他セクションと共有しミーティングを実施する	ワークシート
4	10月28日	講義・演習	イベント全体を動かすための時間の管理をすることができる	ワークシート
5	11月4日	講義・演習	イベント実施時にリーダーの役割を理解し 役割分担を決めることができる	ワークシート
6	11月18日	講義・演習	イベントの種類を理解する。 様々なイベントの書類作成	ワークシート
7	11月25日	講義・演習	イベントの特色を割り出し会場をブッキングすることができる	ワークシート
8	12月2日	講義・演習	イベントに向けキックオフミーティングを開催する	ワークシート
9	12月9日	講義・演習	打ち合わせ出でた問題点をディスカッションし解決する事ができる	ワークシート
10	12月16日	講義・演習	イベント制作におけるフローチャートを理解し資料を作成する	ワークシート
11	1月13日	講義・演習	イベントにおけるマニュアルを作成する事ができる	ワークシート
12	1月20日	講義・演習	スタッフをブッキングし打ち合わせを実施する。	ワークシート
13	2月3日	講義・演習	イベント実施における業務の整理と 資料制作をまとめることができる	ワークシート
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 □

科目名	イベント制作(4) LT Works(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾有里子 堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	イベント実施のための平面図を理解する	ワークシート
2	10月14日	講義・演習	イベント実施のための会場図面を理解する	ワークシート
3	10月21日	講義・演習	図面を他セクションと共有しミーティングを実施する	ワークシート
4	10月28日	講義・演習	イベント全体を動かすための時間の管理をすることができる	ワークシート
5	11月4日	講義・演習	イベント実施時にリーダーの役割を理解し 役割分担を決めることができる	ワークシート
6	11月18日	講義・演習	イベントの種類を理解する。様々なイベントの書類作成	ワークシート
7	11月25日	講義・演習	イベントの特色を割り出し会場をブッキングすることができる	ワークシート
8	12月2日	講義・演習	イベントに向けキックオフミーティングを開催する	ワークシート
9	12月9日	講義・演習	打ち合わせ出でた問題点を ディスカッションし解決する事ができる	ワークシート
10	12月16日	講義・演習	イベント制作におけるフローチャートを理解し資料を作成する	ワークシート
11	1月13日	講義・演習	イベントにおけるマニュアルを作成する事ができる	ワークシート
12	1月20日	講義・演習	スタッフをブッキングし打ち合わせを実施する。	ワークシート
13	2月3日	講義・演習	イベント実施における業務の整理と 資料制作をまとめることができる	ワークシート
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 □

科目名	イベント制作(4) STAGE Works(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾有里子 堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	イベント実施のための平面図を理解する	ワークシート
2	10月14日	講義・演習	イベント実施のための会場図面を理解する	ワークシート
3	10月21日	講義・演習	図面を他セクションと共有しミーティングを実施する	ワークシート
4	10月28日	講義・演習	イベント全体を動かすための時間の管理をすることができる	ワークシート
5	11月4日	講義・演習	イベント実施時にリーダーの役割を理解し 役割分担を決めることができる	ワークシート
6	11月18日	講義・演習	イベントの種類を理解する。様々なイベントの書類作成	ワークシート
7	11月25日	講義・演習	イベントの特色を割り出し会場をブッキングすることができる	ワークシート
8	12月2日	講義・演習	イベントに向けキックオフミーティングを開催する	ワークシート
9	12月9日	講義・演習	打ち合わせ出でた問題点を ディスカッションし解決する事ができる	ワークシート
10	12月16日	講義・演習	イベント制作におけるフローチャートを 理解し資料を作成する	ワークシート
11	1月13日	講義・演習	イベントにおけるマニュアルを 作成する事ができる	ワークシート
12	1月20日	講義・演習	スタッフをブッキングし打ち合わせを実施する。	ワークシート
13	2月3日	講義・演習	イベント実施における業務の整理と 資料制作をまとめることができる	ワークシート
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 □

科目名	著作権(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	林達也
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部1)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス／カラオケビジネス／レンタルCDなどの基礎も学ぶ。 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料／印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎／著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル／考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント／ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	オリエンテーション／音楽業界の構造・応用編（1）	教科書準備チェック／配布授業資料復習
2	4月28日	講義・演習	音楽業界の構造（2）／日本レコード協会・JASRAC	教科書予習／配布授業資料復習
3	5月12日	講義・演習	著作権の基礎（1）概要／構造	教科書予習／配布授業資料復習
4	5月19日	講義・演習	著作権の基礎（2）歴史／現在	教科書予習／配布授業資料復習
5	5月26日	講義・演習	アーティストの権利／印税とは	教科書予習／配布授業資料復習
6	6月2日	講義・演習	収入シミュレーション（CD販売）	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
7	6月9日	講義・演習	収入シミュレーション（ダウンロード／音楽配信）	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
8	6月16日	講義・演習	日本におけるカラオケの歴史と市場／印税配分	教科書予習／配布授業資料復習
9	6月23日	講義・演習	著作権の保護期間／フェアユース／問題点など	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
10	6月30日	講義・演習	ミュージックビデオ／プロモーションビデオの歴史と成り立ち	教科書予習／配布授業資料復習
11	7月7日	講義・演習	レンタルCD市場の歴史と著作権	教科書予習／配布授業資料復習
12	7月14日	講義・演習	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの基礎（1）	教科書予習／配布授業資料復習
13	8月25日	講義・演習	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの基礎（2）	教科書予習／配布授業資料復習
14	9月1日	講義・演習	音楽の仕事／音楽にまつわる職業の考察	教科書予習／配布授業資料復習
15	9月8日	講義・演習	まとめ／復習／期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習　時間外学習			教科書などを用いた授業への予習／毎授業で配布される授業資料を復習	

【使用教科書・教材・参考書】 □

よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編／実践編 5th Edition（安藤 和宏）/ 18歳の著作権入門（福井 健策）

科目名	著作権(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	林達也
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部1)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス／カラオケビジネス／レンタルCDなどの基礎も学ぶ。 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料／印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎／著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル／考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント／ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	オリエンテーション／音楽業界の構造・応用編（1）	教科書準備チェック／配布授業資料復習
2	10月13日	講義・演習	音楽産業の構造・応用編（2）	教科書予習／配布授業資料復習
3	10月20日	講義・演習	著作権の必須知識／使える著作権	教科書予習／配布授業資料復習
4	10月27日	講義・演習	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの応用（1）	教科書予習／配布授業資料復習
5	11月3日	講義・演習	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの応用（2）	教科書予習／配布授業資料復習
6	11月17日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは？実例／具体例／判例など（1）	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
7	11月24日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは？実例／具体例／判例など（2）	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
8	12月1日	講義・演習	インターナショナルな音楽活動／世界の音楽ビジネス事情	教科書予習／配布授業資料復習
9	12月8日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約（1）	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
10	12月15日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約（2）	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
11	1月12日	講義・演習	音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷	教科書予習／配布授業資料復習
12	1月19日	講義・演習	変わりゆく著作権／時代と著作権との関係と問題点	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
13	2月2日	講義・演習	現在の音楽産業／これから10年後のビジネスモデル	教科書予習／配布授業資料復習
14	2月9日	講義・演習	音楽の仕事／音楽にまつわる職業の考察・応用編	教科書予習／配布授業資料復習
15	2月16日	講義・演習	まとめ／復習／期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習　時間外学習			教科書などを用いた授業への予習／毎授業で配布される授業資料を復習	

【使用教科書・教材・参考書】 □

よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編／実践編 5th Edition（安藤 和宏）/ 18歳の著作権入門（福井 健策）

科目名	音楽史(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	中町俊自
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部1)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	ジャズの歴史を時代を追って研究する。異なるジャンル、時代のジャズがいかに現在のポピュラーミュージックに影響を与えているかを考えながら学ぶ。						
到達目標	1）各時代のスタイルの違いを説明できること。 2）音楽との関係性を知ること。 3）有名な曲の歴史的意義を知る。 4）各自の音楽制作、演奏、企画に役立てる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	ジャズ史概観　この授業で何を得るのか	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
2	5月9日	講義・演習	ﾙｲ･ｱｰﾑｽﾄﾛﾝｸﾞ ジャズの誕生	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
3	5月16日	講義・演習	ﾃﾞｭｰｸ･ｴﾘﾝﾄﾝ ビッグ・バンドの時代	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
4	5月23日	講義・演習	ｸﾞﾚﾝ･ﾐﾗｰ ビッグ・バンドの広がり	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
5	5月30日	講義・演習	ﾁｬｰﾘｰ･ﾊﾟｰｶｰ ビバップの始まりと進化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
6	6月6日	講義・演習	「クールの誕生」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
7	6月13日	講義・演習	マイルズ・デイヴィスと「モード」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
8	6月20日	講義・演習	ｵｰﾈｯﾄ･ｺｰﾙﾏﾝとフリージャズ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
9	6月27日	講義・演習	ジョン・コルトレーン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
10	7月4日	講義・演習	ﾏｲﾙｽﾞ･ﾃﾞｲｳﾞｨｽ「ビッチズ・ブルー」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
11	7月11日	講義・演習	ﾊｰﾋﾞｰ･ﾊﾝｺｯｸとフュージョン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
12	7月18日	講義・演習	コンテンポラリー・ジャズ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
13	8月22日	講義・演習	ジャズ・ヴォーカリスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
14	8月29日	講義・演習	日本のジャズのあゆみ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
15	9月5日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
準備学習　時間外学習			自分から進んで授業に関する音源を探して聴くこと。	

【使用教科書・教材・参考書】 □

適宜、講師が用意。

科目名	音楽史(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	中町俊自
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部1)	授業形態	講義・演習	総時間(単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	ロックの歴史を時代を追って研究する。異なるジャンル、時代のロックがいかに現在のポピュラーミュージックに影響を与えているかを考えながら学ぶ。						
到達目標	1)各時代のスタイルの違いを説明できること。 2)音楽との関係性を知ること。 3)有名な曲の歴史的意義を知る。 4)各自の音楽制作、演奏、企画に役立てる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	ロック史の概観と2000年以降のロックシーン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
2	10月10日	講義・演習	ロックの誕生～若者向けの商業音楽の成立	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
3	10月17日	講義・演習	エルヴィス・プレスリーの登場による社会の変化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
4	10月24日	講義・演習	ザ・ビートルズが起こした革命	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
5	10月31日	講義・演習	ボブ・ディランとフォークソング、フォークロック	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
6	11月7日	講義・演習	ソウル・ミュージックを学ぶ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
7	11月14日	講義・演習	「サージェント・ペパーズ」が切り開いた世界を知る	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
8	11月21日	講義・演習	70年代へ続く道	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
9	11月28日	講義・演習	70年代、ロックの大衆化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
10	12月5日	講義・演習	パンクの登場	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
11	12月12日	講義・演習	MTVによる時代の変化と HIPHOPが生み出した新しいグルーヴ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
12	12月19日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
13	1月9日	講義・演習	90年代、グランジの時代／まとめ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
14	1月16日	講義・演習	総まとめ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
15	1月30日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
準備学習　時間外学習			自分から進んで授業に関する音源を探して聴くこと。	

【使用教科書・教材・参考書】 □

適宜、講師が用意。

科目名	就職対策講座(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	飯泉さか江
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部1)	授業形態	講義・演習	総時間(単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	就職における、面接マナー・現在出ている求人の確認、一人ひとりが目標とする就職先の希望を明確にする						
到達目標	社会人としての基礎力(メールの送り方、挨拶の仕方、電話の仕方、履歴書の書き方など)を学び、働くことの意味や仕事の職種、内容について考える事で自らの将来像をイメージできるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	自分の仕事のタイプについて知ることができる	自分自身の分析
2	4月28日	講義・演習	キャリアをデザインしよう／ スティーブジョブスの偶然をキャリアに	プレゼン資料の準備(レポート)
3	5月12日	講義・演習	学生生活キャリアイメージを理解する	プレゼン資料の準備(レポート)
4	5月19日	講義・演習	自分らしさ／自信をみにつける事ができる	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び 打ち合わせ(レポート)
5	5月26日	講義・演習	コミュニケーションの難しさを理解する	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び 打ち合わせ(レポート)
6	6月2日	講義・演習	コミュニケーション例／説明力を学ぶ	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び 打ち合わせ(レポート)
7	6月9日	講義・演習	面接など基本を理解する	レポート
8	6月16日	講義・演習	身だしなみについて知る	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
9	6月23日	講義・演習	働きがいとは／次回の課題を考える事ができる	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
10	6月30日	講義・演習	インタビュー課題を理解する	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
11	7月7日	講義・演習	PDCAサークル／仕事の心身を理解する	企画制作に関わる資料の製作(レポート)
12	7月14日	講義・演習	仕事の収入の成り立ち／収入について理解する	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
13	8月25日	講義・演習	内定が出てから行うこと理解する	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 □

科目名	就職対策講座(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	飯泉さか江
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部1)	授業形態	講義・演習	総時間(単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	就職における、面接マナー・現在出ている求人の確認、一人ひとりが目標とする就職先の希望を明確にする						
到達目標	社会人としての基礎力(メールの送り方、挨拶の仕方、電話の仕方、履歴書の書き方など)を学び、働くことの意味や仕事の職種、内容について考える事で自らの将来像をイメージできるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	自己分析　自らの得意、強みを知る	前期復習
2	10月13日	講義・演習	自分の発信と相手側の受けロり方について	プレゼン資料の準備(レポート)
3	10月20日	講義・演習	グループワークの進め方	プレゼン資料の準備(レポート)
4	10月27日	講義・演習	臨機応変の対応力について	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
5	11月3日	講義・演習	社会人失敗例について知る	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
6	11月17日	講義・演習	10年後の自分について目標を持つ	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
7	11月24日	講義・演習	今行うべきことの理解と、学びについて	レポート
8	12月1日	講義・演習	対人関係について・自己表現方法について	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
9	12月8日	講義・演習	社会が求めるコミュニケーション能力を知る	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
10	12月15日	講義・演習	自分のキャリアデザインを書く	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
11	1月12日	講義・演習	自分のキャリアデザインを企画書にする	企画制作に関わる資料の製作(レポート)
12	1月19日	講義・演習	自分のキャリアデザインをプレゼンテーションをする	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
13	2月2日	講義・演習	他者のキャリアデザインにアドバイスを行う	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 □